

都市再生整備計画 事後評価シート
天竜川駅周辺地区

令和6年3月

静岡県浜松市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	浜松市		地区名	天竜川駅周辺地区			面積	16.7 ha		
交付期間	令和1年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	530百万円	国費率	0.494				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路3路線(天竜川駅南口アクセス道路、(都)天竜川駅前線、(市)和田58号線)、高質空間形成施設 緑化施設等(天竜川駅周辺)										
		提案事業	事業活用調査((都)天竜川駅前線、事業効果分析調査)										
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業											
		提案事業											
新たに追加した事業		基幹事業											
提案事業													
交付期間の変更	当初	令和1年度～令和5年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	誘導区域に居住する人口	人	4,168	H30	4,200	R5	4,484	4,305	○	あり	アクセス道路や駅前広場の整備により、駅へのアクセス性や駅前広場の利便性、歩行者の安全性が向上し、居住人口が増加している。	
											なし		
	指標2	自転車交通量	台	675	H30	740	R5	562	761	○	あり	アクセス道路や駅前広場(駐輪場)等の整備により、駅へのアクセス性や駅前広場の利便性、自転車の安全性が向上し、自転車による駅の利用者が増加している。	
											なし		
指標3	アクセス道路沿線での民間投資	件	0	H30	2	R5	0	3	○	あり	アクセス道路や駅前広場の整備により、駅へのアクセス性や駅前広場の利便性、歩行者の安全性の向上し、まちの魅力が高まり、民間投資の増加に寄与している。		
										なし			
指標4										あり			
										なし			
指標5										あり			
										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	地価	円/㎡	90,400	H30			95,400				アクセス道路や駅前広場の整備により、まちの魅力が高まり、地価が上昇している。	
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	(都)天竜川駅前線の事業効果分析調査において、従前値と同様の調査を実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 目標の達成に向けて引き続き事業を実施する。		
	官民連携による取組					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

天竜川駅周辺地区(静岡県浜松市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
【大目標】 持続可能で安全・安心に暮らせるまちづくり 目標1: 交通アクセスの強化と安全性及び駅利便性の向上による魅力ある住みやすいまちづくり 目標2: UD化を考慮した歩行者・自転車の通行空間の確保により歩行者、自転車の駅利用がしやすく安全に通行できるまちづくり 目標3: アクセス道路沿線への民間投資の喚起による魅力あるまちづくり	誘導区域に居住する人口	単位: 人	4,168 H30	4,200 R5	4,305 R5
	自転車交通量	単位: 台	675 H30	740 R5	761 R5
	アクセス道路沿線での民間投資	単位: 件	0 H30	2 R5	3 R5
		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R

まちの課題の変化	<p>(課題の改善状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前広場の整備が進む中で、駅へのアクセス性の確保が必要となっていたが、アクセス道路の整備により、駅の利便性やアクセス性が改善された。 利用者の増加、高齢化に対応した周辺道路の歩行者空間の整備が必要となっていたが、アクセス道路、駅前広場の整備により、歩行者空間を確保することができ、利便性や安全性が改善された。 地域生活拠点(都市計画マスタープラン)、都市機能誘導区域・居住誘導区域(立地適正化計画)として、民間投資を喚起するまちづくりの軸となる基盤整備が必要であったが、アクセス道路の整備により、地区の魅力が向上し、マンション建設の民間投資が喚起された。 <p>(今後の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> アクセス道路等の未整備区間では、道路幅員や歩行者等の安全性が不足している。 都市機能の誘導が進んでいない。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> アクセス道路やアクセス道路に接続する道路を整備する。 歩道や自転車通行空間の整備、無電柱化の推進により、安全で快適な歩行者空間を確保する。 交通結節機能を強化する。 都市機能の確保等の公共貢献に応じた容積率緩和制度の運用の考え方を明示し、民間都市開発を誘導する。